

九州大学若手女性研究者・女子大学院生優秀研究者賞（伊藤早苗賞）

2026 年度公募 Q&A

Q1：【若手女性研究者部門】推薦要項「2. 推薦対象者」について、ポスドク（JSPS 特別研究員、学術研究員、専門研究員等）は推薦可能か。

A1：ポスドク（JSPS 特別研究員、学術研究員、専門研究員等）も推薦可能です。但し、推薦による応募はできませんので、被推薦者の研究内容を良く理解する本学教員からの推薦にて応募してください。

Q2：【若手女性研究者部門】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「イ 本学に1年以上在籍していること。」とは、どのような場合に要件を満たすか。

A2：「イ 本学に1年以上在籍していること。」は、例えば、次のような場合に要件を満たします。

1. 2025 年度末までに本学に1年以上研究者として在籍し、2026 年度受賞決定時（2026 年9月末）に本学に在籍している教員、ポスドク（JSPS 特別研究員、学術研究員、専門研究員等）等研究者は要件を満たします。
2. 2025 年度末までに本学に1年以上大学院生として在籍し、2026 年度受賞決定時（2026 年9月末）に本学に在籍している教員、ポスドク（JSPS 特別研究員、学術研究員、専門研究員等）等研究者は要件を満たします。

Q3：【若手女性研究者部門】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「ハ 過去3年以内に優れた研究業績を挙げていること。」では、他大学等での研究業績も対象となるか。

A3：他大学での期研究業績を含めていただいても結構です。他大学を経て、2026 年度に教員、ポスドク（JSPS 特別研究員、学術研究員、専門研究員等）等研究者として本学に在籍している方の場合、他大学の研究業績を含めた 2023 年度～2025 年度の研究業績をもって2026 年度の若手女性研究者部門に推薦いただくことが可能です。但し、他の要件、特に「イ 本学に1年以上在籍していること。」も同時に満たす必要があるため、本学在籍期間が要件を満たすかご留意ください。

Q4：【若手女性研究者部門】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「ハ 過去3年以内に優れた研究業績を挙げていること。」には、大学院等の期間の研究業績を含めてよいか。

A4：本学大学院の期間の研究業績を含めていただいて結構です。例えば、本学大学院を経て、2026年度に教員、ポスドク（JSPS特別研究員、学術研究員、専門研究員等）等研究者として本学に在籍している方の場合、当該博士課程の研究業績を含めた2023年度～2025年度の研究業績をもって2026年度の若手女性研究者部門に推薦いただくことが可能です。

Q5：【2部門共通】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「過去3年以内に優れた研究業績を挙げていること（または「挙げた者）」とは、被推薦者に過去3年間に渡って優れた研究業績が無ければ推薦対象とならないということか。

A5：過去3年以内の優れた研究業績については、過去2年または1年の優れた研究業績でも推薦は可能です。

Q6：【女子大学院生部門】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「過去3年以内に優れた研究業績を挙げた者」には、学部、修士の期間の研究業績を含めてよいか。

A6：博士課程に限らず、学部、修士の期間の研究業績を含めていただいて結構です。例えば、2024年度に学部4年で優れた研究業績を挙げ、2026年度に本学の修士課程に在籍している方も、2026年度の女子大学院生部門に推薦いただくことが可能です。

Q7：【女子大学院生部門】推薦要項「2. 推薦対象者」の要件、「過去3年以内に優れた研究業績を挙げた者」は、他大学等での研究業績も対象となるか。

A7：過去3年以内の優れた研究業績については、他大学等での研究業績も対象となります。例えば、他大学の学部4年で優れた研究業績を挙げ、2026年度に本学の修士課程に在籍している方、他大学の修士課程で優れた研究業績を挙げ、2026年度に本学の博士課程に在籍している方も、2026年度の女子大学院生部門に推薦いただくことが可能です。